

2014 年度の事業報告書

特定非営利活動法人チャイルド・ケモ・ハウス

1 事業の成果

2014 年度は完成したチャイルド・ケモ・ハウスにおいて、支援や生活サポートの内容、体制づくりなどを行った。本年度は、その基盤をもとに小児がんの子どもと家族が持つ様々な生活や背景を大切に、医療・教育・保育・福祉機関が共に連携し、小児がんになったことで直面している課題や困難を解決できるように下記のような事業を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(1)小児がん分野における QOL の向上に関する研究事業	小児がん患者、家族の理想的な治療施設のあり方とサポート内容の研究(サポート内容やサポートツールの研究を行った)	2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日	チャイルド・ケモ・ハウス	10	小児がん経験者、患者家族、医療・保育・教育・福祉関係者等約 30 名程度	2068
	小児がんをはじめ長期療養中の子ども達の体力維持のためコミュニティースポーツプログラムづくりと実践(小児がん治療中と退院直後のお子さんを対象にスポーツプログラムを実施した)	2014 年 10 月 1 日～ 2015 年 9 月 30 日 (スポーツプログラムは 2015 年 3 月 1 日)	チャイルド・ケモ・ハウス	10	小児がん経験者、小児がん患者、患者家族他 約 30 名	
(2)小児がんに対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業	小児がんの QOL について考えるシンポジウム vol.7 「がんになっても笑顔で育つ！」チャイルド・ケモ・ハウスの小児がん患者と家族へのサポート事例の紹介を行った	2013 年 8 月 1 日～ 2014 年 7 月 31 日 (シンポジウムは 2014 年 6 月 29 日)	国立病院大阪医療センター	10	医療・保育・教育・福祉関係者・支援者・患者とその家族・企業関係者等約 100 名	4491

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(2)小児がんに対する正しい知識の普及を目的としたイベントの企画、運営と普及啓発事業	ボランティアの参加によるバザー用品の作成と各種イベントなどでの販売と啓発活動を実施した	2014年度 数回	全国	10	一般人 約300名	
	チャイルド・ケモ・ハウスチャリティーウォーク2014～神戸から未来へチャイケモ色でつながろう！～(実行委員として参加した)	2014年 6月7日	兵庫県下	100	一般参加者・ 支援者等 約500名	
	夢の病院をつくろうプロジェクト(インターネット上でコンセプトの告知と支援のお願い)	通年	インターネット上	3	一般人 約100名	
	チャイルド・ケモ・ハウスのブログ、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、講演等による情報の発信	通年	インターネット上	5	約500名/日	
	発行物の作成 チャイルド・ケモ・ハウスの活動を伝える『チャイケモつうしん』の発行	年2回発行	チャイルド・ケモ・ハウス	5	約5000名	
(3)小児がんに関わる全ての人への支援事業 小児がん患者、家族の闘病生活支援、小児がん患者、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	小児がん患者、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	通年	チャイルド・ケモ・ハウス 他	10	施設利用者(患者、家族)、ハウスで働くスタッフ、ボランティア、同様の支援を行う他団体約200名)	27103

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(3)小児がんに関わる全ての人への支援事業 小児がん患児、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	チャイルド・ケモ・ハウスのコンセプトを広めるチャリティーTシャツおよびチャリティーグッズ等の販売	通年	チャイルド・ケモ・ハウス 全国	30	一般人 約 1000 名	
	夢の自動販売機の設置の普及	通年	全国	5	支援者、一般人、企業 61 台設置	
	募金箱設置の普及、募金の回収	通年	全国	20	支援者、一般人 81 個設置	
	小児がんの子どもと家族の生活相談センター(事業推進委員会の開催、生活相相談業務の実施、人材の派遣、シンポジウムの開催)	2014 年 4 月 1 日～ 2015 年 3 月 31 日 (シンポジウムは 2014 年 10 月 12 日に東京にて開催)	チャイルド・ケモ・ハウス (シンポジウムは東京)	15	全国の小児がん患児とその家族、小児がんの子どもが身近にいる一般の人たち、医療・福祉関係者など小児がんの子どもと家族の支援者 約 100 名 シンポジウム参加者約 200 名	
	15 歳以上がん患者のピアサポートプログラムの構築と実施(研究会、チャイケモカフェの実施、ピアサポートガイドブックの作成)	2014 年 1 月 1 日～ 2014 年 12 月 31 日	チャイルド・ケモ・ハウス	10	小児がんサバイバー(個人、団体)、小児がんサバイバーの家族 約 50 名	

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
(3)小児がんに関わる全ての人への支援事業 小児がん患児、家族の闘病生活支援、小児がん闘病生活のQOL向上を目指す団体への支援	長期入院中の子ども達への教育サポートプログラムの構築と実践 (E-lectureの実施、教育サポートボランティアの育成、企業等とタイアップした授業プログラムの構築)	2014年 4月1日～ 2015年 1月31日	全国	10	小児がんの子ども達が入院する病院、退院後在宅で療養中の子ども約30名	
	AYA世代の小児がん患者の課題整理とサポートプログラムの考案及び実施 (AYA世代がん患者へのヒアリング、アンケートの実施、研究会の開催、就労支援プログラムの考案と実施)	2014年 6月1日～ 2015年 3月31日	チャイルド・ケモ・ハウス	15	闘病中のAYA世代がん患者、サバイバー、AYA世代を支援する関係者および団体 約100名	
(4)小児がん分野における医療者及び支援者の人材育成事業	小児がんの子ども達の社会生活サポート事業の立ち上げ (教育・保育・福祉機関とのネットワーク構築、学習会、事例検討会の開催、マニュアルの作成)	2014年 10月1日～ 2015年 3月31日	チャイルド・ケモ・ハウス	10	小児がん患児とその家族、友人、小児がんを支援する医療・保育・教育・福祉関係者 約50名	2198